

都市みらい通信

IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development

平成13年2月

(財)都市みらい推進機構

まちづくり情報

- ・戸畑駅南口地区の開発について

トピックス

- ・都市緑地保全法の一部を改正する法律案

都市みらいカレンダー

- ・21世紀エネルギー研究会
- ・新川崎地区市民利用施設用地利用計画検討委員会

平成13年2月28日

まちづくり情報

当財団では、戸畑駅南口地区の街並み・まちづくり総合支援事業等の調査を受託し、まちづくりのお手伝いをさせていただいております。

本地区では、地域福祉活動の拠点となる「(仮称)総合福祉プラザ」が、平成14年度にオープンする予定であり、福祉ボランティア活動や世代間交流等の盛んな魅力あふれるまちづくりが大いに期待されております。

戸畑駅南口地区の開発について

戸畑駅南口地区は、北九州市の都心である小倉から西へ約6km、副都心である黒崎から北東へ約5kmの位置にあります。また、JR戸畑駅の南口に面しており、戸畑区の中心市街地に隣接している約10.6haの地区です。

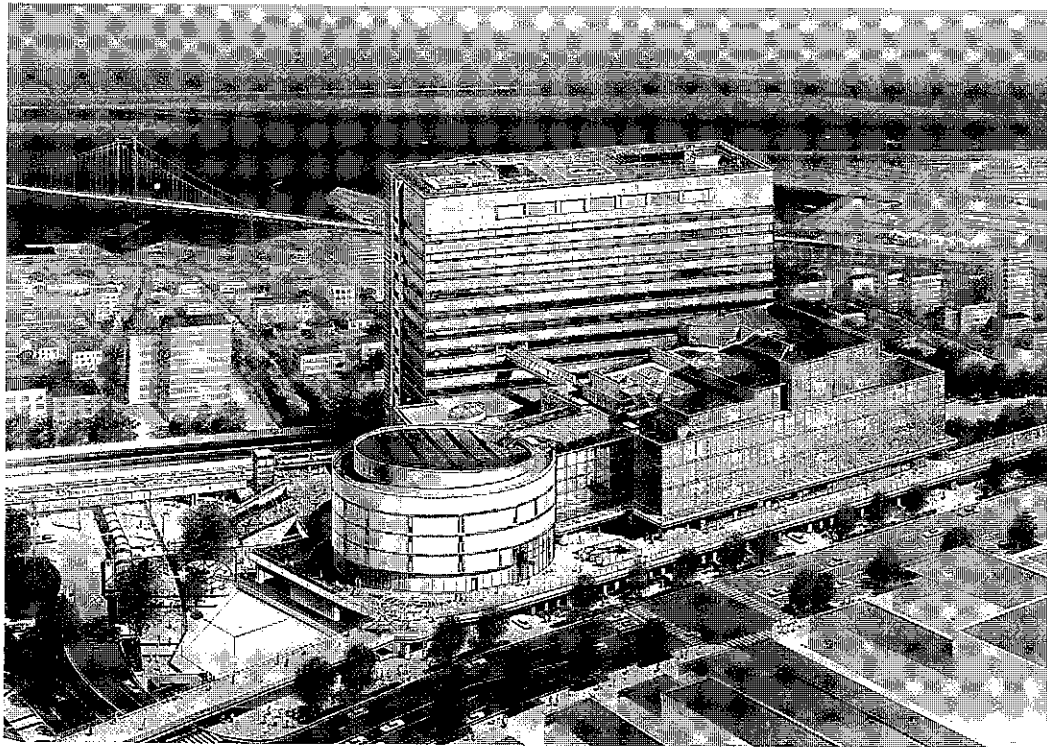
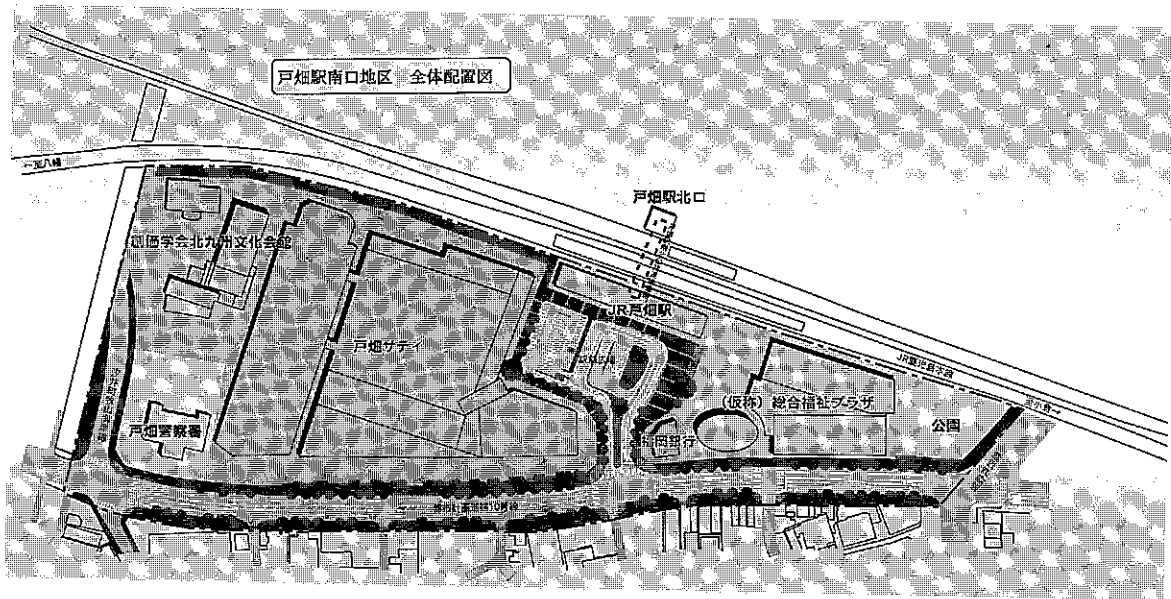
当地区は、わが国近代鋳物産業の発祥となった戸畑鋳物(株)(現在の日立金属)が明治43年に誕生しましたが、近年の産業構造の転換等により昭和62年の日立金属閉鎖や他にも清算事業団用地等の大規模未利用地が発生しました。このため平成2年8月、関係者からなる戸畑駅周辺土地利用会議が設置され、本地区の効率的な土地利用について検討・協議を行い地区開発の基本構想を策定しました。事業手法等の検討の結果、土地区画整理事業が採択され、平成4年10月都市計画決定、平成6年3月戸畑駅南口土地区画整理組合が設立されました。

本地区の開発基本コンセプトは「多世代共生のまちづくり」をテーマに、駅前という利便性の立地を活かし、既存商店街や周辺市街地と連携し先進生活拠点づくりをリードする新しい生活支援機能をもつまちを目指すものとなっています。

具体的な整備としては、駅前という交通結節機能を中心に商業・アミューズメントゾーン、文化・福祉施設ゾーンを配置しています。このうち交通結節機能として戸畑駅の駅舎と駅前広場を土地区画整理事業で地区の中央に移設し、JR鹿児島本線で分断されていた地区の南北を結ぶ連絡通路建設や駅と地区内及び周辺地区に快適に回遊出来るようペDESTリアンデッキ(立体歩道)を街並み・まちづくり総合支援事業で整備を行いました。

また、商業・アミューズメントゾーンには大型複合商業施設(戸畑サティ)が平成11年3月オープンしており、文化・福祉施設ゾーンには北九州市の福祉拠点となる「(仮称)総合福祉プラザ」が平成14年度完成を目指し整備を行っております。この戸畑駅南口地区は、区画整理事業による面整備から上物整備計画までが、構想段階から順調に実施段階に進んだ例でもあり、今後、戸畑区の表玄関にふさわしいまちづくりの期待がされています。

(寄稿：北九州市建築都市局区画整理課)



(仮称) 総合福祉プラザ完成予想図

施行後の地区の現況

(事業年度：平成6年度～平成12年度)



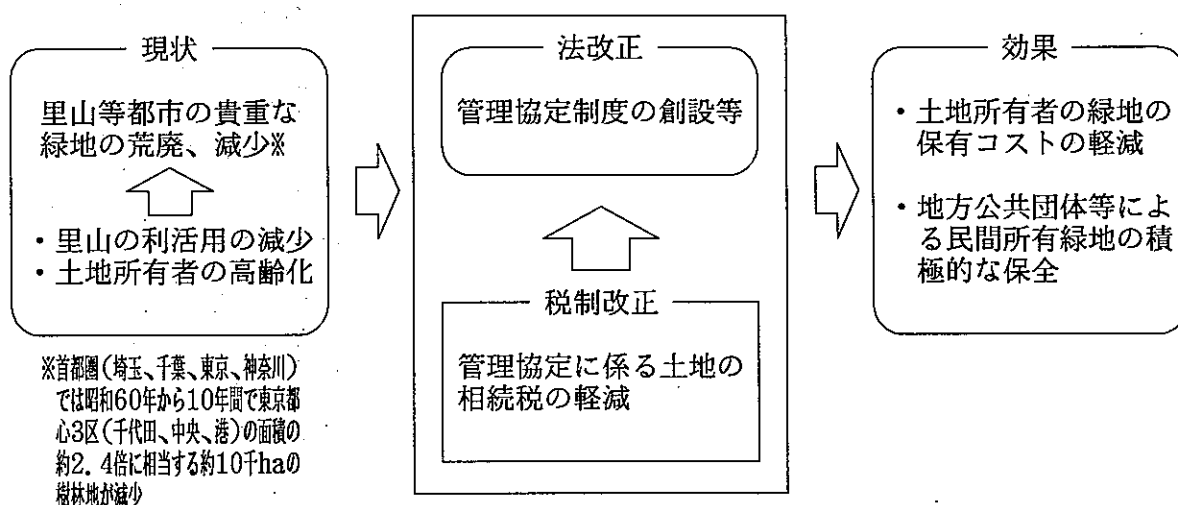
□トピックス

都市緑地保全法の一部を改正する法律案

今国会に提出され、閣議決定になる予定の法案です。（この「都市みらい通信」が皆様方のお手元に届く頃には閣議決定になっていると思います。）

都市における緑地の適切な保全及び効率的な緑化の推進を図るため、①土地所有者等との協定に基づき地方公共団体等が緑地保全地区内の緑地を管理する制度及び②建築物の屋上、空地その他の敷地内の緑化施設整備計画を市町村長が認定し、支援する制度を創設する等所要の改正を行う。

*①地方公共団体等が、緑地保全地区内の土地所有者に代わって、緑地の管理を行う管理協定制度を創設する。



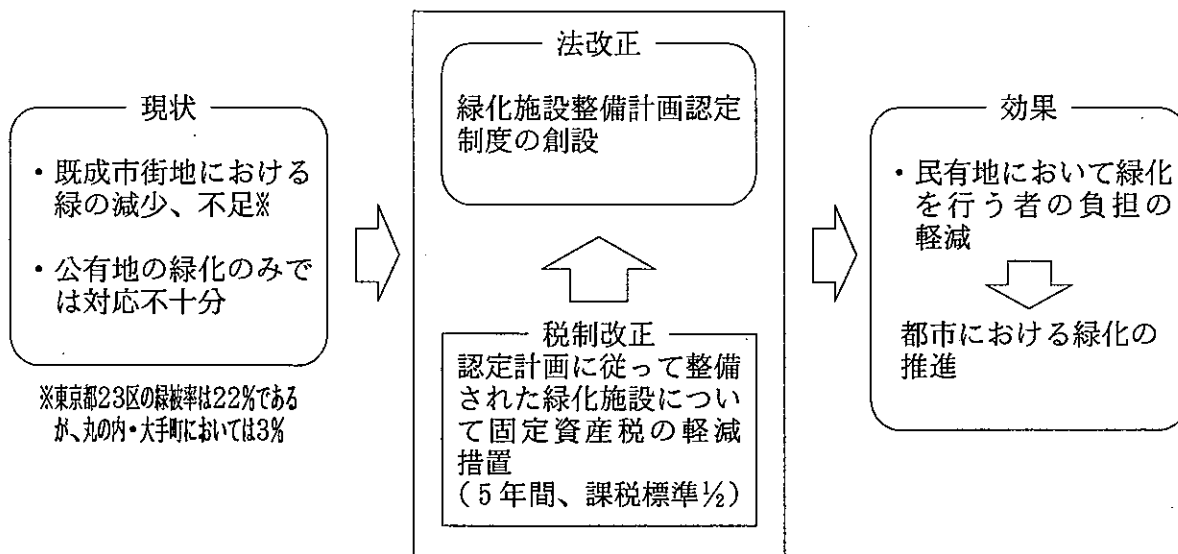
緑地の管理が不十分なまま放置されると…

- ①枯死木・風倒木の発生
- ②里山生態系の衰退
- ③景観の悪化
- ④不法投棄物の堆積

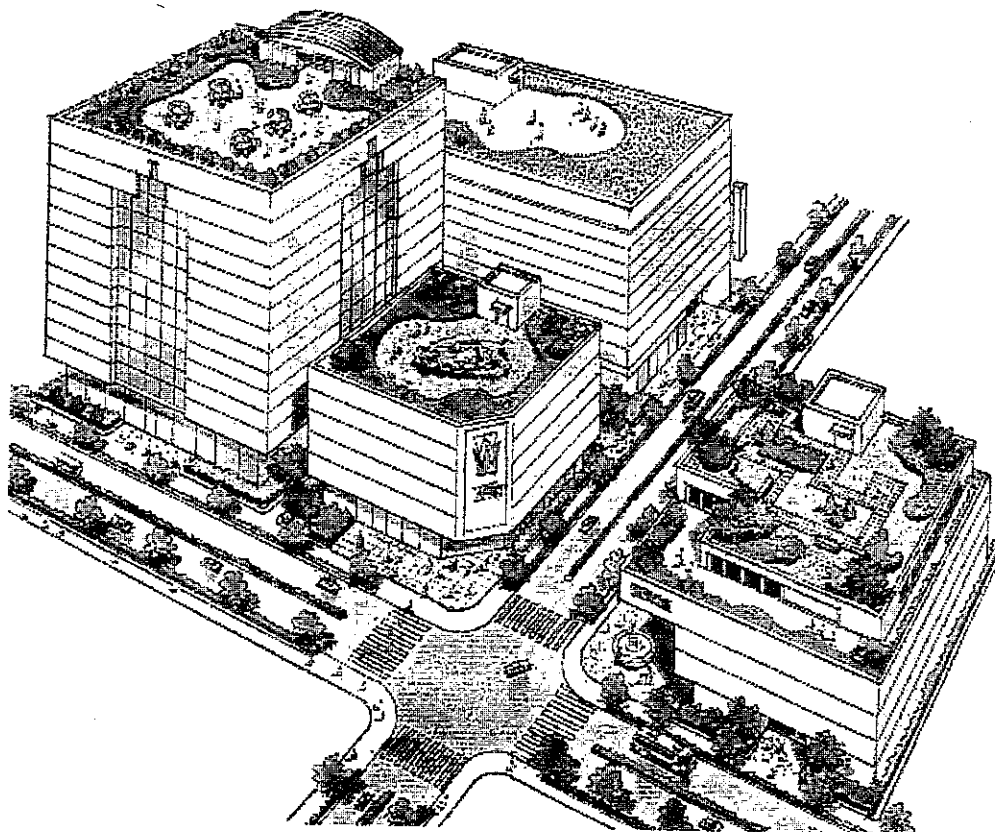
土地所有者等に代わり、協定に基づき地方公共団体、NPO等が良好に管理。



*②都市におけるヒートアイランド現象の緩和、良好な自然的環境の創出を図るため、建築物の屋上、空地その他の屋外での緑化施設の整備に関する緑化施設整備計画を市町村長が認定し、固定資産税の課税の特例措置等の支援措置を講ずることとする。



・緑化施設のイメージ



(国土交通省 都市・地域整備局)

都市みらいカレンダー

財団

*印のある項目については、他ページに解説があります。

月	日	項 目	備 考
2	1	篠路駅周辺地区検討会（札幌市）	第2回
	2	江別の顔づくり事業研究会（江別市）	第2回
	2	創世1. 1. 1区推進連絡会	第11回
	2	新長田企業研究会第1分科会	第7回
	6	土木学会地下利用計画小委員会	第8回
	7	砂津・末広地区合同研究会（北九州市）	第2回
	7	秋葉原地区まちづくり検討委員会WG	第11回
	8	大深度地下利用に対応した都市計画制度のあり方に関する検討委員会	第7回
	9	*21世紀エネルギー研究会	第5回(数)
	9	低・未利用地個別地区会議（市川）	
	9	低・未利用地個別地区会議（清水）	
	13	近畿圏大都市部における再編整備国土交通省委員会	
	13	*新川崎地区市民利用施設用地利用計画検討委員会	第1回
	14	秋葉原機能導入懇談会	
	15	谷上駅周辺整備企業研究会第2分科会	第1回
	15	首都圏防災拠点検討会	第3回
	16	新長田駅企業研究会第3分科会	第1回
	21	まちづくり懇談会	
	23	秋葉原地区まちづくり検討委員会	最終回
	23	創世1. 1. 1区空間整備検討委員会（札幌市）	第6回
23	低・未利用地押上地区会議		
28	低・未利用地岐阜地区会議		
28	ITを活用した新たな街づくり説明会		
3	2	新潟駅周辺整備企業研究会	第7回

インテリジェントシティ整備推進協議会

1	30	まちづくり情報交流分科会	
2	22 28	都市IT化研究会 ITを活用した新たな街づくり説明会	第1回

地方の拠点まちづくり協議会

1	26	地方拠点都市育成のあり方研究会	準備会
2	20 28	地方拠点都市育成のあり方研究会 ITを活用した新たな街づくり説明会	第1回

都市地下空間活用研究会

2	9	大阪分科会	
	16	東京駅周辺地下利用分科会	
	20	UIT技術論文発表/交流展示会出展	
	28	ITを活用した新たな街づくり説明会	
3	7	中心市街地と地下街のあり方分科会	
	13	事業部会/定例懇話会（東京商船大学 高橋教授）	
	30	企画運営小委員会	

21世紀エネルギー研究会

2月9日（金）財団会議室において、平成11から12年度、2年間に渡る最終の研究会が開催されました。

当研究会は昨今の電気事業を中心とした規制緩和等の制度環境の移行に伴い、今後の都市形成に深く係わりのある「都市エネルギーシステム」がいかにあるべきかのあり方を研究することを目的として官学民からなるメンバーにより発足しました。平成11年度はエネルギー利用効率向上方策としてコージェネレーションシステムの導入を取り上げ、シュミレーションモデルを用いて従来システム、個別コージェネレーションシステム、コージェネレーションシステム採用の地域冷暖房との比較・評価、及び問題点の抽出をおこないました。これを受けて平成12年度は地域冷暖房の導入に的を絞り、行政、都市開発事業者、エネルギー供給者の講演を聞き、その後の議論を踏まえて課題と対策への方向性を導き、最終回まで闊達な意見交換をおこない閉会となりました。

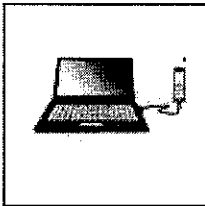
今後、これら意見を反映して近々に報告書のまとめを予定しております。

新川崎地区市民利用施設用地利用計画検討委員会

バブルの崩壊等、社会・経済情勢の変遷に伴って休止となっているJR新川崎駅周辺の大規模多目的市民利用施設の整備計画を見直し、新川崎・創造のもり事業の位置づけ及び当該施設用地利用計画の基本方向を明らかにするため、小林重敬横浜国立大学教授を座長に、原田誠司那須大学教授ら学識経験者と地元財界、市民からなる委員会を開催しました。

川崎市では、新たな地域産業を育てるため、創業間もない企業や、企業と大学との共同開発チームなどに研究の場を提供し、ITや生命科学などの先端技術の拠点としてすでに進出している慶應大学の研究施設『ケイ・スクエア・タウンキャンパス』との連携も促し、ベンチャー支援を進め、臨海部の空洞化と言われる川崎経済の活性化を図る方針の一環と聞いています。

あとがき



「IT革命」と言われる21世紀は、ワークスタイル・消費生活等のライフスタイルが大きく変革されると予想されますが、一体どんな社会になるのか非常に楽しみです。

SF映画のような夢のライフスタイルが現実になる日も近いと思いますが、これだけ情報化が進むと個人の情報収集力・活用力の格差が広がり、「情報難民」が生まれる事が危惧されます。

そんな事にならない為に、財団としても、情報化関連の調査の中で、どんな人でもITを活用した快適な生活ができる街づくりの情報提供等行なっていきたいと考えています。

(H・A)

発行

財団法人 都市みらい推進機構

〒107-0062

東京都港区南青山3-18-14 南青山スリービル2F

TEL : 03 (3423) 2120

FAX : 03 (3423) 2125

kikaku@toshimirai.or.jp

<http://www.toshimirai.or.jp>